

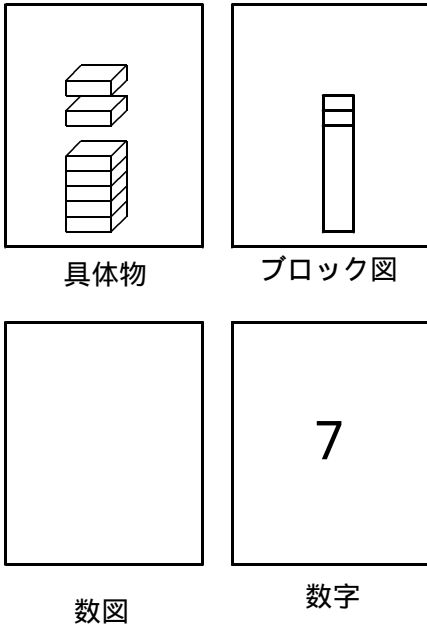
# 小学校 低学年

言語活動 「概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。」

育成したい  
言語の能力

表す力：「5のまとまり」を使って、計算の仕方を説明する。

## 教材等の例



## 単元名等

1年 算数 「のこりはいくつ ちがいはいくつ」 1・2時間目 / 7時間

## 本時の目標

減法の意味と被減数が10以内の減法計算の仕方を知り、「5のまとまり」を利用して計算できるようにするとともに、数の大きさをタイル図でもとらえられるようにする。

## 本時の流れ

### 解釈する（1・2時間目前半）

日常生活で見られる減法場面から、減法と式の表し方を知り、ブロックなどの具体物操作をして考える。

具体物やブロック図で「5のまとまり」を使うことに慣れる。  
数の大きさをブロック図で表す。

同じ大きさの数字・数図・ブロック図の関係を結び付ける。

## 指導の工夫

「5のまとまり」を使っている友達の準備が速いことに目が向けられるようにする。

数字・数図・ブロック図の関係を使ったカルタや神経衰弱などのゲームを取り入れ楽しみながら「5のまとまり」を意識できるようにしていく。

### 説明・活用する（2時間目後半）

「5のまとまり」を使って計算する。  
教師のブロック操作を見て、全体で説明の練習をする。  
数名の児童が交代で前に出て説明する。

「5のまとまり」を使ってまとめて引ける型を意識して取り上げ、練習する。

## ワークシート（一部）

